

1. 概要と目的

ラジエーションカレッジは、放射線の健康影響に関する風評の払拭を目指した「ぐるぐるプロジェクト」^(※)の事業の1つです。学生・社会人が、放射線の健康影響に関する学びを深め、発信する場です。

※「学び・知をつむぐ、人・町・組織をつなぐ、自分ごととしてつたわる」を掲げ、学びの場を創出し、健康不安対策の強化を推進するプロジェクト

2. 応募資格

- 全国の高校生、大学生、大学院生、専門学校生（学部不問）もしくは全国の企業、自治体にお勤めの方、個人事業者等で、ラジエーションカレッジセミナーを受講済みの方。

3. 応募にあたって

- 別途応募申込み用紙（Excelシート）をダウンロードして必要事項を記載の上、メールにて送付してください。
- ファイルサイズが3MBを超える場合は、オンラインストレージやファイル共有サービスを使用して共有してください。
- 個人またはグループ（2～6名程度）で応募ください。
- 応募は1人または1グループにつき、各部門ごとに1作品までとします。同一部門で複数作品の応募はできません。
- またグループで応募した場合、そのグループに属する個人が単独で別作品を応募することはできません。
- 過度な性描写・残虐描写を含む作品、第三者の著作権その他の権利・利益を侵害する又は侵害する可能性が高い作品（パロディ、模倣を含みます）、特定の個人・団体を誹謗・中傷する作品、公序良俗に反する内容の作品、本応募要項に違反している作品、その他事務局が相応しくないと判断した作品は選考対象外となります。
- 選考に関するお問い合わせには応じられません。
- 作品および原稿の返却は応じられません。
- 応募作品は「ぐるぐるプロジェクト」啓発の目的に限り、環境省が自由に利用や公開することができるものとします。

4. 応募後の流れ

- 参加者には、環境省より「参加証」を贈呈します。
- 応募された作品は、事務局による1次審査の上、審査員による2次審査が行われます。
- 特に優秀な作品を応募された方にはぐるぐるプロジェクトフォーラムにて「優秀賞」を贈呈します。

5. 応募先・問い合わせ先

ぐるぐるプロジェクト事務局 ラジエーションカレッジ担当

E-mail: info@radiation-college.jp

〈参考資料〉

○ぐるぐるプロジェクト公式ホームページ【環境省公式】

<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal/communicate/>

○放射線による健康影響等に関するポータルサイト【環境省公式】

<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal/index.html>

○暮らしの手引き（平成29年3月）

<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/shiencenter/pdf/kurashinotebiki.pdf>

○暮らしの手引きプラス（平成31年3月）

https://www.env.go.jp/chemi/rhm/shiencenter/pdf/kurashinotebiki_plus.pdf

1. 課題

放射線の健康影響に関する風評を払拭することを目的に、“ぐるぐるプロジェクト”の背景や目的、内容を端的に伝え、興味を持ってもらい、公式サイトへのアクセスを促す動画を作成する。

2. 応募締切・応募方法等

○応募締切：2023年1月10日（火）まで

○応募方法：オンラインストレージ等を使用し、メールで提出。

○仕様：以下の規定を満たす動画作品。

- 時間は60秒以内
- 動画作成にあたっての映像手法や編集方法は自由
- 作品の提出形式はMP4データ、1GB以内の容量とする。
- 画角は16：9横サイズを原則とする。演出上、スマホ向け縦サイズなど違う画角に見えるように作ることを妨げないが、審査や公開時は16：9横サイズで再生される。（縦作品は両サイドの余白が黒くマスクされる）

○制作時の注意事項：

- CMのターゲットとなる視聴者を想定して、申し込み用紙に記載すること（例：児童向け、同世代の友人、50代～60代、祖父母世代など）。
- イラストやキャラクターなどを使用する場合は著作権を侵害しないこと。楽曲を使用する場合はオリジナル素材や著作権フリー素材等を使用することとし、著作権を侵害しないこと。
- 応募者以外を出演者として起用することができる（応募者本人が出演する必要はなく、セミナー受講していない者の出演も可）。ただし作品発表時や表彰時に名前がクレジットされるのは応募者（もしくは応募グループメンバー）のみとなることに留意。
- 出演者は公開の許可を得た者のみとし、許可を得ていない人物などが写り込まないようにすること。

3. 審査基準

- ① ぐるぐるプロジェクトの理念を理解しているか。
- ② ラジエーションカレッジから得た内容から逸脱していないか。科学的に間違っていないか。
- ③ 視聴者に『ぐるぐるプロジェクト』の本質を伝え、興味を持っていただき、公式ホームページへのアクセス意欲を喚起させるものとなっているか
- ④ 上記①②③が、オリジナリティのあるアイデアで構成されているか

※最終的な作品の技術的完成度よりも、上記①②③④への取り組み姿勢が作品から伝わってくるかどうかを評価する。

〈制作のヒント〉

応募作品の作成にあたって参考となるいくつかのヒントをご紹介します。

【形式の例】

- 人物が出演したプレゼンテーション形式（プレゼン部門と違い、人数などに制限はありません）。
- 人物によるドラマ形式やオリジナルの歌唱による表現。
- イラスト、アニメーションや、紙芝居、人形劇など。
- 上記だけでなく、動画作品として成立していればどのような表現でも構いません。
※著名人やキャラクターなどの使用により著作権を侵害しないこと。また、企業名、ロゴ、商品・サービス名等やそれらをイメージさせるものを使用することは不可。

【編集・演出】

- テロップや効果音などの挿入ほか、どのような画像効果を使用しても構いません。
- ただし、作品制作の意図に合った演出等の工夫は評価の対象に含めますが、技術的に高度であることが評価の中心にはなりません。

【企画の立て方】

- CM作品は表現できる時間（＝盛り込むメッセージ）が限られているため、作品内に登場させる「キャッチフレーズ」（伝えたいことを一言で表現したもの）の設定から計画することをお勧めします。